

会議録（要点記録）

第1回堺市美原区区民評議会専門部会													
開催日時	令和2年2月6日（木）午前10時00分～11時30分												
開催場所	美原区役所本館3階302会議室												
出席委員	猪井委員、川口委員、北中委員、小谷委員、米谷委員、田中委員、塚本委員、伯井委員、藤戸委員、古田委員、山口委員												
事務局職員	澤田区長、石田副区長、今田参事役、白川課長補佐、妻谷主幹、津田係長、新野副主査												
関係課職員	美原区役所自治推進課：神楽所課長 都市整備推進課：井田主幹、土井 道路計画課：鹿室街路係長												
案件	1 部会長の選出について 2 黒山地区開発等の概要について												
傍聴者	2人												
配付資料	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料</td> <td>次第</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</td> <td>地区計画区域及び地区整備計画区域図</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</td> <td>建物計画図</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</td> <td>道路改良イメージ図</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4</td> <td>都市計画道路大阪河内長野線事業概要図</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料5</td> <td>美原区区民評議会専門部会委員名簿</td> </tr> </table>	資料	次第	資料1	地区計画区域及び地区整備計画区域図	資料2	建物計画図	資料3	道路改良イメージ図	資料4	都市計画道路大阪河内長野線事業概要図	資料5	美原区区民評議会専門部会委員名簿
資料	次第												
資料1	地区計画区域及び地区整備計画区域図												
資料2	建物計画図												
資料3	道路改良イメージ図												
資料4	都市計画道路大阪河内長野線事業概要図												
資料5	美原区区民評議会専門部会委員名簿												

開会

《事務局が会議の成立を報告し、公開を確認》

区長挨拶

○澤田区長 皆様、おはようございます。

お寒い中、また早朝よりこの専門部会にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

ちまたでは、新型コロナウイルスが蔓延して武漢では2万人を超えるような患者に感染するというようなことになっています。

堺市におきましても、対策本部会議を立ち上げまして対策に当たっているところではありますが、専門家によりますと、感染性あるいは毒性については余り高くなく通常の季節性インフルエンザと同等レベルだと言われております。そういった意味では、日ごろの手洗い、うがい、それからせきエチケット、こういった対策を講じていただき、また冷静に対応して

いただければと思っております。

さて、この区民評議会でございますが、区域の課題につきましては、区域の皆さんの御意見等によりまして、区域みずからで解決していこうという趣旨のもと区民評議会が立ち上げられました。この美原区におきましても、委員の皆様方の御参画によりまして、区域課題に対しまして熱心に御議論いただき、各方面での御議論の末、さまざまな施策の御提言を頂戴して、区役所としても皆様と一緒に課題解決に向けて取り組んでいる状況でございます。この美原におきまして、黒山の東西の開発が今現在まさに進もうとしております。そうした中で、この美原は、今後ますます発展していく、そういうような状況を迎えているのではないかと思っております。ただその一方で、工事が進む中で、区域の皆様方には交通渋滞の問題、そして交通渋滞によりまして、生活道路に入ってくるのではないかと、生活上の交通安全の問題、に対して不安であったりとか課題を訴えられる皆様方がふえてきているというふうに感じてございます。そうした意味で、美原区民評議会のもとでこの専門部会を立ち上げていただき、ここ数年で予想される交通問題に対しまして、皆様から真摯に、またそして、この美原が将来大きく発展できように、大所高所から皆様方の御意見を頂戴しながら我々といたしましても一緒にこの課題解決に当たっていきたいと思っております。

きょうは、担当部署から情報提供もいただきながら進めていきたいと思っておりますので、この会議が有意義なものとなりますよう、皆様方をお願い申し上げまして、私からの御挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

委嘱書の交付

《区長が出席委員へ委嘱書を交付》

委員の紹介

《事務局が各委員を紹介》

職員の紹介

《事務局が事務局職員、関係課職員を紹介》

案件 1 部会長の選出

《委員の互選により、部会長に田中委員を選出》

部会長就任挨拶

○田中部会長 皆様方の賛同いただきまして部会長に就任いたしました田中でございます。よろしく願いいたしたいと思っております。

先ほども区長さんからもございましたが、美原の区民評議会では、黒山地区周辺の開発の影響で周辺道路の渋滞や、交通量の増加が予想されており、地域の住民の方々の交通問題に対する関心が高く、この問題につきまして区民評議会の中で専門に議論する必要があるという意見が出されたため、この専門部会を立ち上げることになりました。

また、堺の7区の中でそれぞれ区民評議会があるわけでございますけども、こういった専門部会が立ち上がったのは美原区が初めてだと聞いており大変貴重な機会だと考えております。各委員の皆様方には、今までの豊富な経験を生かしていただきまして、美原区全体にとってよりいい方向を出せるよう積極的に御意見いただければありがたいと思っております。意義のある専門部会にしたいと思っておりますので、御協力よろしくお願い申し上げます。

案件2 黒山地区開発等の概要について

○田中部会長　それでは、議事進行をさせていただきます。皆様方には、円滑な議事の進行に御協力をよろしくお願いいたします。

まず案件2でございますけども、黒山地区の開発の概要につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

○企画総務課妻谷　それでは、黒山地区開発の概要について都市整備推進課より、幹線道路ネットワークによる国道309号渋滞緩和が予想される道路計画の概要を道路計画課からそれぞれ説明させていただきます。

○都市整備推進課土井　黒山東地区は、既に皆様も御承知のとおり、地元地権者の皆様で組織される黒山東まちづくり会及び事業者の三井不動産株式会社によりまして、大規模商業施設開発が民間事業として進められております。国道309号を挟みまして、当地区西側で進められております組合施行の土地区画整理事業と合わせて、堺市都市計画マスタープランにおいて位置づけされている美原都市拠点の形成に貢献する事業といたしまして、当課が市の担当部署として事業を支援しております。

まず初めに、黒山東地区の事業概要を簡単に御説明いたします。

事業区域8.2ヘクタール、権利者数は今年度4月現在で47名となっております。平成29年3月に黒山東まちづくり会及び三井不動産株式会社から都市計画提案書が提出されまして、計4回の都市計画審議会を経て、後ほど御説明いたします交通処理計画などの計画内容が美原都市拠点の形成に貢献するものとして、平成30年7月、黒山東地区地区計画が都市計画決定いたしました。

地区計画の内容ですが、お手元の資料1をごらんください。

建物の壁面位置の制限、それから地区施設として区画道路立体連絡通路の整備、国道309号大阪千早線び市道黒山南北線の道路拡幅など、さらに資料に記載はありませんが、建築

物の用途、建ぺい率及び容積率、高さなどの制限が定められております。

次に、施設計画でございますが、資料2をごらんください。

敷地を大きく2つに分け、南側の大街区は商業棟と立体駐車場A棟が配置されまして、建築面積約4万3,000平米、延べ床面積16万7,400平米、うち大規模小売店舗立地法指針におけます店舗面積約4万2,400平米となっております。北側の街区には、立体駐車場B棟が配置されまして、建築面積約2,800平米、延べ面積8,300平米となっております。駐車場台数に関しましては、大規模小売店舗立地法及び事業者の既存施設の実績から、十分な台数を想定しており、現在の計画では全体で約3,000台を確保する計画となっております。

当事業の現在の進捗状況でございますが、2月3日に都市計画法第29条の開発許可を取得しまして、翌日の4日から埋蔵文化財の本掘調査が始まっております。令和3年度末の商業施設開業を目指し、事業は進められております。

それでは、交通処理計画の説明に移らせていただきます。

引き続き、お手元の資料2をごらんください。

まず、建物配置については先ほど御説明させていただきましたとおりでございますが、中央の商業棟と北西にあります立体駐車場Bを上空通路で接続する計画となっております。来店、退店時の出入り口に関してですが、309号の左折専用レーンを整備しまして、309号からの入り口を計画しております。また、区役所別館北側からの入り口及び市道黒山南北線の郵便局南側、区画道路1号及び立体駐車場B北側からの出入り口を計画しております。

続きまして、整備計画について御説明させていただきます。

資料3をごらんください。

まず、資料1でもお示ししましたとおり、区画道路1号及び区画道路2号というのが事業区域内で整備する計画でございます。さらに区画道路1号が接続してまいります下黒山南交差点につきましても、現状、右折車線の新設が完了し供用開始しておりますが、今後は、事業者が右折車線の延伸を計画しております。また、資料右側の市道黒山南北線に関しましては、北側にあります交差点のT字路ですが、南行き右折車線の新設などの整備を計画しております。

続きまして、周辺道路の整備計画についてですが、北側に位置する309号線と府道泉大津美原線との交差部である下黒山交差点の概要についてでございますが、西側から東に向かって通行する場合の左折レーンの新設及び右折車線の延伸などの整備は、堺市が行う計画となっております。さらに、そこから黒姫山交差点との区間につきましては、事業者が右折車線の延伸及び車道の拡幅などの整備を計画しております。また、資料下側の美原区役所前交差点につきましては、右折車線の延伸を計画しております。

以上、御説明させていただきました整備計画をもとに、現在、道路管理者、警察などの関

係部局と協議、調整を進めているところでございます。

以上でございます。

○道路計画課鹿室　　続きます、都市計画道路の大阪河内長野線につきまして説明させていただきます。

資料はA4の横刷りの資料4となっております。

お手元のA4資料のちょうど中央、縦に大阪河内長野線が走っている図面となっております。ちょうど国道309号と並行して大阪市内のほうから南河内地域を結ぶ幹線道路となっております、本市の東部地域を南北に縦断する重要な幹線道路となっております。

まず現在、本市域においては、図面の上方、真ん中あたりには府道大阪中央環状線と交差する部分ですが交差部分から南にかけて現在のところ約200メートルの区間につきまして、事業を進めている状況でございます。

あと、図面の中央下側、南余部や北野田の地区になりますが、現在500メートルの区間で事業を進めており、令和2年度の供用予定となっております。

なお、現在事業を進めている区間の南側につきましては、平成28年6月に策定しました都市計画道路整備プログラムにおいて策定後、おおむね5年の間に着手する路線として位置づけしており、事業化に向け協議、調整を行っているというところです。

以上、簡単ではございますが、都市計画道路大阪河内長野線の事業概要について御説明させていただきます。

○企画総務課妻谷　　説明は以上です。

○田中部会長　　ありがとうございました。

それでは、今、説明していただきましたことにつきまして、御意見、御質問をいただきたいと思いますが都市整備推進課の内容と道路計画の内容に分けた方が分かりやすいと思いますので、都市整備推進課の説明につきまして、御質問ございましたらどうぞ御遠慮なく発言お願いいたします。

○小谷委員　　東地区の開発では年間1,300万人の来場が見込まれていると思いますが西側の開発では年間どのくらいの人数を予定されているのですか。

○都市整備推進課井田　　西側の開発につきましては現時点で保留地の処分先が決まっておらず、施行者である組合から明確な年間予想来場者数の報告は届いておりません。

○小谷委員　　それでは東側の開発だけで考えても1日平均3万人の来場者のほとんどが乗用

車で来ることが予想されており、国道309号は現時点でも朝夕はかなり混雑している状況のうえ大型車両の通行も多く、この交差点改良だけで渋滞緩和が可能なのか、また、周辺の道路も309号の抜け道としてかなり影響が出るのではと思っていますが、その点についてはどのように考えられているのですか。

○都市整備推進課土井　我々も現状から交通量は増えると考えており、現在の交通量に新たに計画交通量を上乘せし、警察、道路管理者とも協議し整備内容を進めている状況です。

具体的な対策としましては、舟渡北交差点や下黒山交差点の改良に加えまして、事業者としてもハード面では左折インを原則とした入り口設定や、309号の左折専用レーンの整備なども計画しており、ソフト面でも公共交通機関の利用促進や誘導、配置などの検討も今現在進めている状況です。

また、生活道路への侵入などの対策につきましても警察、行政、自治会などと協議し侵入防止用の看板設置などを検討しております。

○田中部会長　はい、ありがとうございます。

山口さん、どうぞ。

○山口委員　私は開発事業者の説明会に出席して、どれだけ駐車場を確保するとか、渋滞解消のため出入り口をどのようにするかなどを聞きました。

これらの対策を十分に検討した結果、開発許可が下りているのであり事業者はそれ以上のことはしないと思っています。

私自身は309号がもともとあった平尾から黒山に抜ける道や警察から狭山に抜ける道を分断し6差路のような形態にしてしまったのが渋滞の原因と考えていますので、これを解消するためにはそれらの部分の下を309号が通るようにアンダーパスで抜けば大分渋滞は解消されると考えており309号を管理する国に要望するしかないと思っています。

また、河内長野線や八尾富田林線など他の幹線道路との連携も重要でこれらを念頭に置いて計画を進めてもらいたいと考えています。

○田中部会長　先ほど、道路計画課と都市整備推進課で分けてと言いましたけども関連しますので、共同で説明いただいたらと思います。

○道路計画課鹿室　国道309号以外の幹線道路というお話もあった中で、現在、その国道309号と並行して大阪河内長野線の整備を進めている状況です。

また、都市計画道路の八尾富田林線につきましては、平成28年6月に策定させていただ

きました都市計画道路の整備プログラムにおきまして、その他路線として位置づけられており、現在のところは事業化については未定となっております。

○山口委員 八尾富田林線の事業化が未定ということなので、まず事業化するよう要望する必要があるのではないですか。

○米谷委員 いろいろ要望もあると思いますが、この専門部会は、先ほど会長も最初に言われたように、黒山地区開発等によりここ数年で発生すると予想される交通問題について調査審議し区民評議会に対して報告することが目的で、例えば先ほど小谷委員からもあったように生活道路の侵入をどう防いでいくとか、309号のこれから増加する車をどのように減らしていくのかということや、皆さんの意見をまとめていくということをやっていただくほうがいいのではないかなと思います。

説明に来ている職員に将来のことを質問されても、今、決まっていること以外に答えようもないと思います。

それから、公共交通の利用を増やしていくかということも、車の台数を減らすことにつながると思いますので、そういう点からも含めて、二つの面から話を進めていただけたらなと思います。

○田中部会長 わかりました。米谷委員が言われることもごもっともだと思いますが、今日は、せっかく二つの課から説明に来てもらっていますので、他の委員さんも今の時点で質問あったらお願いしたいと思います。

○伯井委員 先ほど現在の交通量プラス上乗せ交通量で算定されていると説明がありましたが数字を教えてくださいませんか。

現在、交通量は幾らで、幾ら上乗せしているのかを教えてくださいたいのですが。

○都市整備推進課土井 現状の交通量調査で交通量が一番多い、休日の309号の南行きが一日1万4,200台です。

こちらに計画交通量一日7,300台を上乗せし、合計一日2万1,500台が算定した台数です。

○伯井委員 今説明していただいた交通量には黒山地区東側開発以外の西側地区の開発や、松原で進められている開発などにより増加する交通量は含まれているのでしょうか。

○都市整備推進課土井 黒山地区西側の処分先が全く決まっておらず計画ができていない状況ですので、計画交通量には含めておらず、また、松原の開発に伴う交通量の増加も計画交通量には入れておりません。黒山地区東側開発の商業施設にのみ特化して計画交通量を出しております。

○伯井委員 ではその計算結果で、例えば、舟渡池の渋滞状況がどのように変化するのかシミュレーションはあるのでしょうか。

○都市整備推進課土井 そのようなシミュレーションが有るのかどうかにつきましては担当部局に確認してみないと分かりません。

○伯井委員 この開発は堺市において認可されていますので、計画に上がっている対策で十分だという根拠を知りたかったのです。

ただ、私も開発に伴う地元説明会に参加しましたが東側開発に伴う交通量の増加しか加味されていないため、松原地区や西側の開発が加わればこの計画では処理しきれないのではないかと懸念しています。

他の開発も含め複合的に説明していただければ納得できると思います。

○田中部会長 西側の開発事業者が決まっていないということですが、もし事業者が決まり予想交通量が大幅に増加する場合は計画を見直すということでしょうか。

○都市整備推進課井田 東側の開発に伴う交通量の算定をするに当たり西側開発の動きも前提にありますので加味していないのかどうかにつきましては、再度確認させていただき事務局を通じて回答させていただきます。

○田中部会長 早急に調べていただいて御返事いただきたいと思います。

ほかに何か御質問ございますか。

○藤戸委員 今回の開発は美原においては長年の悲願でもあったわけで美原の基礎作りに何ら否定するわけではないのですが、美原区に限らず松原市でも大きな開発が始まっている現状では国道309号だけに頼るのには限界にきていると考えており、もう少し東西の道路網にも力を入れるべきではないかと思っています。

既に都市計画決定がなされている道路もあるわけですから早期に実現できるように専門部会で提言していきたいと思っております。

○田中部会長　ほかにございますか。

○小谷委員　先ほど山口委員もおっしゃっておられた八尾富田林線ですが堺市の平成28年評価プログラムでは、その他路線の整備時期未定路線と位置づけられており、令和12年まで事業着手する予定にないとされています。

しかし、大阪府では八尾空港から藤井寺市の小山まで整備されていますし、藤井寺駅前はまだまだですが羽曳野市の伊賀地区からさつき野北側の小平尾交差点まで買収がかかっています。

また、富田林市のマスタープランでは防災を含め非常に重要な道路と位置づけられているにもかかわらず堺市では昭和42年に行われた調査での将来交通量で平成28年の評価が行われているのには疑問を持っています。

例えば市の事業で既に整備されているさつき野中央部の八尾富田林線を延伸し木材通中央線と繋げば309号の交通渋滞が緩和されると思いますが、市はどのようにお考えですか。

○田中部会長　道路計画課からお願いします。

○道路計画課鹿室　平成28年6月作成の都市計画道路整備プログラムにおいて八尾富田林線が、その他道路となっていますのは、既に事業中の路線もある中、多くの都市計画道路を同時に整備するのは困難なため、当時の社会情勢や沿道の開発状況を含め他の路線の状況も勘案し優先順位を付けたものです。

なお、この整備プログラムは社会情勢の変化や沿道周辺の開発状況等に対応するため、概ね5年で見直すことにしております。

○小谷委員　済みませんが大阪府では平成23年に堺市と同じように都市計画道路の見直し方針を出し、八尾富田林線は存続、継続ということで非常に重要な位置づけをされているのになぜ堺市の区間だけ、その他の道路という評価になるのですか。

○田中部会長　そのことについて説明よろしくをお願いします。

○道路計画課鹿室　先ほど説明させていただきました内容以上の説明は難しいですので、また改めて御説明の機会を設けさせていただきたいと思えます。

○田中部会長　山口委員、どうぞ。

○山口委員　5年ごとの見直しといっても多くの都市計画道路がある中、なかなか進まない

と私は思います。

また、このような幹線道路の整備は近隣の市との連携が重要であり広域の行政協議会を設け、各々の市長が話し合う必要があるのではないかと考えています。

○田中部会長　ありがとうございます。八尾富田林線や309号の地下を通るというアンダーパスなどのお話が出ましたが、いずれもかなり大きな事業になり年数もかかると思います。

美原区域における幹線道路整備の優先順位を上げてもらうことは重要ですが、渋滞緩和に向け今すぐできることをこの専門部会でまとめていただき区民評議会に報告いただく必要もあると考えています。

例えばバスの利用促進の方法や駐車場の大きさ、出入り口の形態などに対する意見など夏ぐらいまでには区民評議会に報告し開発事業に反映してもらうことが重要だと思いますが猪井先生は専門知識をお持ちなのでよろしかったらご意見をお願いします。

○猪井委員　私は最初、堺市のバス交通全体の計画にかかわらせていただいたのが約10年ほど前で、それ以降、美原区のバス交通にもかかわらせていただきました。

先ほど田中部会長のお話あったように、道路は非常に時間のかかるものです。

実は、交通問題においては道路単体で解決しなければならないものだけではなくて、もう少しミクロの対策というのを合わせて解決しないと、新たな交通問題が発生して解決しないと言われてしています。

そのミクロの対策というのは、先ほどお話されたいわゆる発生源対策、できる限り車を使っていたくのを抑制させていただこうということと、あともう一つは、美原の都心をつくるということです。

都心とは一つの施設ではなく、いわゆるこの区役所や周辺の文化施設などを合わせて都心だということで、この周辺を歩ける環境にし、環流していただくということがないと都心としての活性化ありません。

実は、都心の施設間を車で移動されるとその内部交通でまた車があふれてしまうということがあります。

二面作戦になりますが時間をかけ道路を大きく造ることと都心地域内を歩ける環境にデザインすることが非常に大切になってきます。

あと、実はこのバスターミナルは、堺市さんや区役所さんが非常に頑張られて造られましたが必ずしも全てのバスがターミナルに乗り入れている状況ではありません。

近鉄バスさんは、少しでも止まらず運行したいと考えており、またそこで乗り降りがどれだけ期待できるかということからバスターミナルができて南行きでは中まで入らず前にバス停があり、北行きについては道路の反対側にあるという状況です。

近鉄バスさんがバスターミナルに乗り入れていただき、乗客の皆さんがここを中心に他の路線に乗り換えていただく環境に、また、単に乗り換えだけでなく商業施設などで時間調整ができる環境にすることが今以上にバスを利用していただけると思いますのでミクロのデザインですが乗り換え環境を作ることは極めて大切だと考えています。

また、大規模施設ができて交通量が増えることにより、事故が増えることは非常に問題になります。

開発地域の近くには美原中学校があり、歩きやすい環境、ウォーカブルな街を造るということはバスの乗り換えだけでなく、地域の皆さん、特に児童や生徒さんが周辺を歩かれるときに影響が出ないようにするということでもあります。

今後、大店立地の調整会議などが開催されたときに施設側に対し求めることもできますし、西側の開発が進んだ後には東側に歩ける環境が整っていることが大切で堺市や区で少し考えていただけたらと思っています。

○田中部会長 ありがとうございます。

今、猪井委員が言われましたウォーカブルな環境について、これから開発業者と内容について話はできるのですか。

○猪井委員 多分、施設内のことについては基本的に開発業者が対策されますが、周辺道路やバスターミナルなどは、開発業者や堺市、警察、バス会社などで別途コミュニケーションを図っていく必要があると思います。

○米谷委員 東のまちづくりの協議会と、三井不動産の黒山東地区の開発計画と地区計画の説明資料の中には鉄道駅からのバスの利便性の向上ということで、バスの利用促進のための鉄道駅、地下鉄御堂筋線の新金岡駅、近鉄南大阪線の河内松原駅、南海高野線の浅香山駅、北野田駅及び堺東駅などからの既存バス路線に関して、来客や従業員による利用者の増加に伴う増減や路線の延伸など、開業時の臨時便を含めて、バス会社や堺市と協議、調整を行い、堺都市拠点の機能強化を図る。

それともう一つは、公共交通の利用を促進するために、ホームページやチラシ等による公共交通機関の利用の呼びかけや、交通系 I C カードの利用によるバス利用者の特典付与、お出かけ応援カードの利用者へのサービスについて、バス会社や堺市と協議する。

このような内容が書かれており、開発現場では本掘工事が行われている状況で、早急にこの話は開発業者にも要望していかなければならないと思います。

特にバス交通の問題については、特に先ほど猪井委員が言われたように、バスターミナルをどう利用するかということについては早急にどのような方向で進めるのか具体的な問題はま

た別として、基本的なことは早く決めていかなければならないと思います。

○田中部会長 開発業者との交渉というか協議は、設定されているのですか。

もしくは今後、区役所やこの専門部会と開発業者の話し合いの予定はあるのですか。

○都市整備推進課土井 公共交通の近鉄バスや南海バスとの協議は、昨年度から何度も行っており、ソフト面、ハード面、両方の対策というところで、増便であったり延伸であったり停留所の増加、その辺の要望を挙げておりますが、確定的なものが決まっておられませんので、今後も協議を進めていく状況です。

我々行政としましては、公共交通の担当部局や開発の窓口である我々都市整備推進課も入りまして、開発事業者には要望を受けたことに対して逐一指導し、内容を伝えるなどの会議の場は設けております。

○米谷委員 開発業者と、区レベルまたは区の住民レベルとの話し合いの予定はないのですか。

○都市整備推進課土井 地域住民の方々に対しては、事業者が説明会を開き意見をいただいています。

我々としては、意見書などで要望を挙げていただいたことに関しましては事業者に伝え対策を練るような指導を行っている状況です。

○田中部会長 米谷委員、やはり直接開発業者の方とお話ししたほうがよろしいですか。

○米谷委員 区長さんもおられるので、相談しながらこの問題を進めていくのが良いのではと思いますが。

○澤田区長 いろいろ御意見頂戴しましてありがとうございます。

必要ということであればさまざまな観点、ハード面やソフト面、それから交通政策、こういったことも含め御議論いただくことになろうかと思えます。

そうした中で、やはりここは事業者と直接意見交換をしたい、あるいはこういうような要望を出したいというような皆様方の御意見がございましたら、当然、担当課と協議させていただきながら交通政策課も含め専門部会の場で意見交換させていただくというのはもちろん念頭にございます。

なおこの件につきましては、議論の進捗を見ながらさせていただければなというふうに思

っておりますのでよろしくお願ひいたします。

○田中部会長　公共交通のお話がでましたが周辺の問題、駐車場の問題、商業施設に入る出入り口の問題などもあると思いますが、それは今の時点でないと要望できないことだと思いますので、ほかにございましたらよろしくお願ひいたします。

○山口委員　開発ですから、協議を何回も重ねて事業者は説明会を開き、我々の要望も市に出したものを開発業者と事前協議を十分しているわけで、開発許可が出ているのなら、我々の意見は通りませんよ。

多分、駐車場の確保や進入路の出入り口も十分協議した中でオーケーということで大体許可をおろしていくと思いますが、基本的に許可が下りた後で開発業者が地元の要望を聞く必要はなく、許可が下りた計画以外の道路整備などが必要な場合は国、府、市に要望するべきだと私は思います。

○田中部会長　山口委員が言われましたがもう遅いのですか、今の時点でそういうお話するのは、これから開発事業者と協議というのはいり得ないのですか。

○都市整備推進課井田　先日の2月3日に黒山東地区の開発許可は下りております。

しかし、バス路線の延伸などにつきましては、我々も非常に重要と認識しており、都市計画の決定をする際にも、バスなどの公共交通の利用促進につきましては事業者からも提案がされております。

それを我々は事業者に対し指導し公共交通の利用促進に向けて取り組んでまいります。

○猪井委員　確認ですけど、大店立地の届け出は先ほどホームページ確認しましたら出ていないので交通影響に関する意見は出せるはずだと思いますが。

○都市整備推進課井田　大店立地の届け出は出ておりません。

○猪井委員　では交通に関する例えば駐車場の入り方や開店時の大きな影響、あと騒音、廃棄物等々はまだまだこれからできるのではないですか。

大店立地の設置後の協議等や申請と実態が合っているのかというフォローアップもされる都道府県がありますので、そういう形で意見を出すタイミングがないわけではないと思いますが。

○田中部会長　　そうしましたら、まだ要望は可能だということですね。
ほかに御意見ございますか。バス交通以外でもいかがでしょうか。

○北中委員　　この専門部会での会議の進め方ですが、あまり範囲を広げると今後も美原区や近隣市での開発が進み改善しないといけない点も多く出てきてきりが無いと思いますので、美原区全体で優先順位や要望の通り方を整理して話をするほうが時間の制限もあるなかで意見をまとめやすいのではないのかと思っております。

○田中部会長　　ほかに御意見ございますか。
古田委員さん、塚本委員さん、それから川口委員さん、もしありましたら。

○川口委員　　この会議ではあまり範囲を広げるのではなく開発に対する道路の拡張や車の流れをいかに良くするかなど309号に対するものを先に取り組んだほうが良いのではと感じました。

○山口委員　　道路とは関係ないのですがお話ししたい件が一つありまして、道路の渋滞もさることながら私の地区は雨水対策が問題となっております。

上流から流れてくる雨水によって浸水する箇所が2箇所あり、これをどのように改善するのが全く出てこない状況です。

開発での浸水対策の計算は時間50ミリで対策を行っているが下水道部から聞いていますが堺では現実的に時間70ミリ以上の雨が降ることがあり、その場合、貯水池や水路などがあふれ浸水してしまいます。

今は日本全国50ミリで雨水計画をしているようですが、今後、雨水対策をしっかりとやってほしいと付け加えておきたいと思っています。

○田中部会長　　一応この専門部会は美原の交通対策となっておりますので、山口委員が言われることは大変大事なことだとは思いますが、この場で取り上げるのは無理だと思いますが。

○澤田区長　　非常に大事な御意見かと思えます。ただ、先ほど部会長がおっしゃいましたように、この専門部会は区民評議会でも交通対策を議論していただくということで立ち上がった会でございますので、この場ではなく、例えば区民評議会でも今後そういった問題を取り扱っていただく、あるいはもう課題が明らかになっており要望するだけということであれば、私や区役所あるいは下水道の担当課などに要望していただくという選択肢があるかと思っております。

おります。

○田中部会長 山口委員さん、それでよろしいですか。

○山口委員 はい。

○田中部会長 それでは今日の会議をまとめさせていただくと、交通問題の改善については早期に意見をまとめるべき内容と中長期にわたって進めるべき内容がある。

今日2つの課に来ていただいて開発の内容や道路について説明を受けましたが、後日返事をいただける内容もあり、また、開発事業者からの説明も聞きたいということですので、近々に会議を開き早急に意見をまとめるべき内容から進めるという方向でよろしいでしょうか。

そうしましたら、担当が市役所になるのか区役所かわかりませんが、開発事業者との話し合いをする機会をつくっていただけるとでしょうか。

○企画総務課妻谷 関係部局と協議させていただきます。

○田中部会長 そうしましたら、一応本日の案件は全て終了いたしました。

あと事務局に引き継ぎたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○企画総務課妻谷 次回は4月ごろを目途に開催いたしたいと考えております。

日程等が決まりましたら連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、第1回堺市美原区区民評議会専門部会を閉会いたします。

本日はどうもありがとうございました。

(午前11時30分 閉会)